

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 三重県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合医療センター	2
-	こころの医療センター	3
-	一志病院	4
-	志摩病院	5
四日市市	市立四日市病院	6
伊勢市	市立伊勢総合病院	7
松阪市	松阪市民病院	8
名張市	名張市立病院	9
尾鷲市	尾鷲総合病院	10
亀山市	市立医療センター	11
志摩市	国民健康保険 志摩市民病院	12
伊賀市	伊賀市立上野総合市民病院	13
大台町	報徳病院	14
玉城町	国保玉城病院	15
南伊勢町	町立南伊勢病院	16
紀南病院組合	紀南病院	17

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名			
病院名	総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	829,846,648	
標準財政規模(千円)	445,218,907	
財政力指数	0.56594	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	169.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	59,990			
1 経常収益	59,990			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	59,990			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	59,990			
2 経常費用	59,990			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	59,990			
(うち支払利息)	59,990	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	261.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名			
病院名	こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,768 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	348	53.8	54.6	64.0
感染症	-	-	-	-
計	348	53.8	54.6	64.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	829,846,648	
標準財政規模(千円)	445,218,907	
財政力指数	0.56594	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	169.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,771,487			
1 経常収益	3,771,487			
(1) 医業収益	1,877,314			
(うち修正医業収益)	1,710,447			
入院収益	1,376,842			
外来収益	300,883			
診療収入計	1,677,725			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	199,589			
(うち他会計負担金)	166,867			
(2) 医業外収益	1,894,173			
(うち国・都道府県補助金)	925,273			
(うち他会計補助・負担金)	832,013			
(うち長期前受金戻入)	101,474			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,321,583			
2 経常費用	3,321,583			
(1) 医業費用	3,197,358			
職員給与費	2,135,118	113.7	59.4	105.1
材料費	177,440	9.5	26.1	9.8
(うち薬品費)	75,450	4.0	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,270	2.1	11.8	1.6
減価償却費	203,265	10.8	8.7	12.8
経費	669,352	35.7	22.1	35.3
(うち委託料)	389,975	20.8	11.7	17.0
研究研修費	7,102			
資産減耗費	5,081			
(2) 医業外費用	124,225			
(うち支払利息)	37,617	2.0	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	449,904			
純損益	449,904			
累積欠損金	1,531,212			
経常収支比率	113.5		103.3	101.8
医業収支比率	58.7		85.5	61.1
修正医業収支比率	53.5		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.5		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	53.2		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	26.5		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	83.5		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,525,753
1 固定資産	7,992,067
(1) 有形固定資産	7,684,906
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	304,862
2 流動資産	2,533,686
(1) 現金及び預金	1,295,915
(2) 未収金及び未収収益	1,257,811
(3) 貸倒引当金()	36,258
(4) 貯蔵品	11,114
3 繰延資産	-
負債合計	16,131,879
1 固定負債	10,896,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,161,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	3,589,174
(6) 引当金	1,064,380
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,370,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	707,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,919
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	469,991
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,864,421
(1) 長期前受金	7,603,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,739,512
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-5,606,126
1 資本金	311,410
2 剰余金	-5,917,536
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-7,289,095
負債・資本合計	10,525,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	5,606,126
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,741,705
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	934,469	998,880
資本勘定繰入	251,831	251,831
計	1,186,300	1,250,711

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	261.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名 三重県
市町村・組合名			
病院名	一志病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,295 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	46	71.8	75.5	78.9
療養	36	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	82	40.3	40.5	42.2
平均在院日数(一般病床のみ)		25.8	23.5	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	829,846,648	
標準財政規模(千円)	445,218,907	
財政力指数	0.56594	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	169.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,102,808			
1 経常収益	1,102,808			
(1) 医業収益	736,039			
(うち修正医業収益)	654,803			
入院収益	371,425			
外来収益	171,750			
診療収入計	543,175			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	192,864			
(うち他会計負担金)	81,236			
(2) 医業外収益	366,769			
(うち国・都道府県補助金)	38,119			
(うち他会計補助・負担金)	279,740			
(うち長期前受金戻入)	21,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	972,135			
2 経常費用	972,135			
(1) 医業費用	944,859			
職員給与費	558,733	75.9	59.4	76.5
材料費	64,961	8.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	15,231	2.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,260	5.5	11.8	6.4
減価償却費	63,945	8.7	8.7	11.5
経費	252,724	34.3	22.1	32.6
(うち委託料)	113,943	15.5	11.7	14.8
研究研修費	823			
資産減耗費	3,673			
(2) 医業外費用	27,276			
(うち支払利息)	622	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	130,673			
純損益	130,673			
累積欠損金	21,563			
経常収支比率	113.4		103.3	101.5
医業収支比率	77.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	69.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	49.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	32.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,525,753
1 固定資産	7,992,067
(1) 有形固定資産	7,684,906
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	304,862
2 流動資産	2,533,686
(1) 現金及び預金	1,295,915
(2) 未収金及び未収収益	1,257,811
(3) 貸倒引当金()	36,258
(4) 貯蔵品	11,114
3 繰延資産	-
負債合計	16,131,879
1 固定負債	10,896,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,161,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	3,589,174
(6) 引当金	1,064,380
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,370,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	707,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,919
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	469,991
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,864,421
(1) 長期前受金	7,603,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,739,512
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-5,606,126
1 資本金	311,410
2 剰余金	-5,917,536
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-7,289,095
負債・資本合計	10,525,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	5,606,126
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,741,705
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	342,813	360,976
資本勘定繰入	24,075	24,075
計	366,888	385,051

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	261.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名 志摩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,325 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	236	41.4	43.1	42.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	68.4	66.3	72.5
感染症	-	-	-	-
計	336	49.5	50.0	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.4	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	829,846,648	
標準財政規模(千円)	445,218,907	
財政力指数	0.56594	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	169.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	903,158			
1 経常収益	903,158			
(1) 医業収益	170,226			
(うち修正医業収益)	6,401			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	170,226			
(うち他会計負担金)	163,825			
(2) 医業外収益	732,932			
(うち国・都道府県補助金)	5,059			
(うち他会計補助・負担金)	447,164			
(うち長期前受金戻入)	123,419			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	960,696			
2 経常費用	960,696			
(1) 医業費用	898,610			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	290,764	170.8	8.7	8.6
経費	601,966	353.6	22.1	21.3
(うち委託料)	6,212	3.6	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	5,880			
(2) 医業外費用	62,086			
(うち支払利息)	41,019	24.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	94.0		103.3	104.8
医業収支比率	18.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	0.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	67.7		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	358.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	67.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	30.4		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,525,753
1 固定資産	7,992,067
(1) 有形固定資産	7,684,906
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	304,862
2 流動資産	2,533,686
(1) 現金及び預金	1,295,915
(2) 未収金及び未収収益	1,257,811
(3) 貸倒引当金()	36,258
(4) 貯蔵品	11,114
3 繰延資産	-
負債合計	16,131,879
1 固定負債	10,896,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,161,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	3,589,174
(6) 引当金	1,064,380
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	1,370,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	707,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,919
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	469,991
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,864,421
(1) 長期前受金	7,603,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,739,512
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-5,606,126
1 資本金	311,410
2 剰余金	-5,917,536
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-7,289,095
負債・資本合計	10,525,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	5,606,126
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,741,705
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	527,400	610,989
資本勘定繰入	133,993	133,993
計	661,393	744,982

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	261.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	四日市市				
病院名	市立四日市病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,525 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	535	71.7	68.0	68.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	4.0	10.8	3.8
計	537	71.5	67.8	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.7	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	305,424	
決算規模(千円)	139,137,789	
標準財政規模(千円)	76,681,662	
財政力指数	1.13	
経常収支比率(%)	80.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,727,939			
1 経常収益	23,664,247			
(1) 医業収益	21,163,108			
(うち修正医業収益)	21,013,788			
入院収益	13,439,488			
外来収益	7,231,100			
診療収入計	20,670,588			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	492,520			
(うち他会計負担金)	149,320			
(2) 医業外収益	2,501,139			
(うち国・都道府県補助金)	1,293,333			
(うち他会計補助・負担金)	611,550			
(うち長期前受金戻入)	477,798			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,692			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,621,678			
2 経常費用	24,590,288			
(1) 医業費用	23,342,833			
職員給与費	10,715,958	50.6	59.4	52.8
材料費	7,326,434	34.6	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,654,582	17.3	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,668,988	17.3	11.8	13.9
減価償却費	1,758,429	8.3	8.7	7.7
経費	3,434,733	16.2	22.1	18.0
(うち委託料)	2,240,173	10.6	11.7	10.7
研究研修費	58,379			
資産減耗費	48,900			
(2) 医業外費用	1,247,455			
(うち支払利息)	111,264	0.5	1.0	0.9
(3) 特別損失	31,390			
損益	-926,041			
純損益	-893,739			
累積欠損金	2,954,011			
経常収支比率	96.2		103.3	102.8
医業収支比率	90.7		85.5	90.3
修正医業収支比率	90.0		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	3.2		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	93.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,330,923
1 固定資産	16,949,202
(1) 有形固定資産	15,722,729
(2) 無形固定資産	3,443
(3) 投資その他の資産	1,223,030
2 流動資産	13,381,721
(1) 現金及び預金	8,202,033
(2) 未収金及び未収収益	4,887,525
(3) 貸倒引当金()	15,175
(4) 貯蔵品	307,338
3 繰延資産	-
負債合計	16,966,980
1 固定負債	13,164,815
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,922,800
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,194,366
(7) 一ス債務	47,649
2 流動負債	3,668,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,355,021
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	612,944
(6) リ一ス債務	21,400
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,585,027
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,004
(1) 長期前受金	1,998,529
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,864,525
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,363,943
1 資本金	16,317,954
2 剰余金	-2,954,011
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,954,011
負債・資本合計	30,330,923
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,148,214	760,870
資本勘定繰入	453,371	453,371
計	1,601,585	1,214,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	伊勢市		
病院名	市立伊勢総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	25,379 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	260	73.7	71.1	70.4
療養	40	83.9	85.3	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	75.1	72.9	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.9	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	122,765
決算規模(千円)	58,405,884
標準財政規模(千円)	30,686,666
財政力指数	0.58
経常収支比率(%)	93.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,937,239			
1 経常収益	8,937,239			
(1) 医業収益	6,830,548			
(うち修正医業収益)	6,773,890			
入院収益	4,460,077			
外来収益	1,818,100			
診療収入計	6,278,177			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	552,371			
(うち他会計負担金)	56,658			
(2) 医業外収益	2,106,691			
(うち国・都道府県補助金)	756,888			
(うち他会計補助・負担金)	852,289			
(うち長期前受金戻入)	462,667			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,679,441			
2 経常費用	8,679,370			
(1) 医業費用	8,293,237			
職員給与費	4,428,828	64.8	59.4	59.0
材料費	1,408,166	20.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	642,651	9.4	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	757,952	11.1	11.8	11.2
減価償却費	1,009,122	14.8	8.7	8.6
経費	1,400,955	20.5	22.1	21.3
(うち委託料)	1,045,672	15.3	11.7	11.6
研究研修費	44,576			
資産減耗費	1,590			
(2) 医業外費用	386,133			
(うち支払利息)	60,707	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	71			
損益	257,869			
純損益	257,798			
累積欠損金	1,564,280			
経常収支比率	103.0		103.3	104.8
医業収支比率	82.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	92.5		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,193,396
1 固定資産	16,384,629
(1) 有形固定資産	15,864,075
(2) 無形固定資産	3,563
(3) 投資その他の資産	516,991
2 流動資産	2,808,767
(1) 現金及び預金	1,247,043
(2) 未収金及び未収収益	1,584,416
(3) 貸倒引当金()	96,163
(4) 貯蔵品	73,471
3 繰延資産	-
負債合計	15,451,574
1 固定負債	12,158,084
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,364,104
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,793,980
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,845,373
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	951,357
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	246,324
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	645,002
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,448,117
(1) 長期前受金	3,759,894
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,311,777
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,741,822
1 資本金	4,254,000
2 剰余金	-512,178
(1) 資本剰余金	1,052,102
(2) 利益剰余金	-1,564,280
負債・資本合計	19,193,396
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	542,441	908,947
資本勘定繰入	342,174	384,294
計	884,615	1,293,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		松阪市			
病院名		松阪市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,379 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	326	71.1	71.8	78.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	61.1	56.4	-
計	328	71.1	71.7	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.3	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	159,145	
決算規模(千円)	74,372,242	
標準財政規模(千円)	41,321,684	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,309,622			
1 経常収益	12,307,905			
(1) 医業収益	9,435,924			
(うち修正医業収益)	9,427,116			
入院収益	5,251,277			
外来収益	3,982,878			
診療収入計	9,234,155			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	201,769			
(うち他会計負担金)	8,808			
(2) 医業外収益	2,871,981			
(うち国・都道府県補助金)	2,363,104			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	381,365			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,717			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,096,223			
2 経常費用	11,086,349			
(1) 医業費用	9,954,975			
職員給与費	4,304,294	45.6	59.4	59.0
材料費	3,603,518	38.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	2,781,231	29.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	732,112	7.8	11.8	11.2
減価償却費	620,437	6.6	8.7	8.6
経費	1,370,701	14.5	22.1	21.3
(うち委託料)	828,055	8.8	11.7	11.6
研究研修費	38,829			
資産減耗費	17,196			
(2) 医業外費用	1,131,374			
(うち支払利息)	48,823	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	9,874			
損益	1,221,556			
純損益	1,213,399			
累積欠損金	560,446			
経常収支比率	111.0		103.3	104.8
医業収支比率	94.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	94.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	0.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	0.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	0.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	110.9		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,975,979
1 固定資産	7,624,505
(1) 有形固定資産	7,399,334
(2) 無形固定資産	95,861
(3) 投資その他の資産	129,310
2 流動資産	7,351,474
(1) 現金及び預金	3,511,296
(2) 未収金及び未収収益	3,567,742
(3) 貸倒引当金()	2,711
(4) 貯蔵品	272,659
3 繰延資産	-
負債合計	9,579,767
1 固定負債	3,651,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,032,746
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,618,938
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,599,076
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	654,675
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	229,648
(6) リ一ス債務	7,130
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	680,007
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,329,007
(1) 長期前受金	8,992,975
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,663,968
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,396,212
1 資本金	5,937,816
2 剰余金	-541,604
(1) 資本剰余金	18,842
(2) 利益剰余金	-560,446
負債・資本合計	14,975,979
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	417,769	8,808
資本勘定繰入	732,995	1,034,670
計	1,150,764	1,043,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		名張市			
病院名		名張市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透1未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,102 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	200	69.9	66.4	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	69.9	66.4	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	13.4	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	76,387	
決算規模(千円)	31,848,330	
標準財政規模(千円)	16,929,980	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.7
	将来負担比率(%)	144.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,818,319			
1 経常収益	5,800,569			
(1) 医業収益	4,396,321			
(うち修正医業収益)	4,083,432			
入院収益	3,002,137			
外来収益	1,003,745			
診療収入計	4,005,882			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	390,439			
(うち他会計負担金)	312,889			
(2) 医業外収益	1,404,248			
(うち国・都道府県補助金)	812,570			
(うち他会計補助・負担金)	470,773			
(うち長期前受金戻入)	62,294			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,750			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,365,812			
2 経常費用	5,345,708			
(1) 医業費用	4,964,718			
職員給与費	2,846,389	64.7	59.4	63.7
材料費	913,052	20.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	243,150	5.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	669,902	15.2	11.8	10.1
減価償却費	311,656	7.1	8.7	9.7
経費	877,314	20.0	22.1	28.9
(うち委託料)	548,419	12.5	11.7	13.6
研究研修費	7,904			
資産減耗費	8,403			
(2) 医業外費用	380,990			
(うち支払利息)	68,925	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	20,104			
損益	454,861			
純損益	452,507			
累積欠損金	8,242,764			
経常収支比率	108.5		103.3	101.8
医業収支比率	88.6		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	93.8		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,652,024
1 固定資産	4,865,467
(1) 有形固定資産	4,862,687
(2) 無形固定資産	2,780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,786,557
(1) 現金及び預金	470,791
(2) 未収金及び未収収益	1,184,015
(3) 貸倒引当金()	8,710
(4) 貯蔵品	48,454
3 繰延資産	-
負債合計	4,223,252
1 固定負債	2,554,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,591,179
(2) その他の企業債	85,026
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	877,904
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,285,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	796,197
(2) その他の企業債	6,994
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,030
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	316,369
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	383,411
(1) 長期前受金	1,592,849
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,209,438
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,428,772
1 資本金	9,688,809
2 剰余金	-7,260,037
(1) 資本剰余金	982,727
(2) 利益剰余金	-8,242,764
負債・資本合計	6,652,024
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	822,987	783,662
資本勘定繰入	503,550	603,550
計	1,326,537	1,387,212

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	187.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		尾鷲市			
病院名		尾鷲総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,802 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	38.3	47.8	53.2
療養	56	49.0	61.6	65.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	40.7	50.9	56.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	15.1	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	16,252	
決算規模(千円)	11,794,996	
標準財政規模(千円)	6,184,832	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	10.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,639,884			
1 経常収益	4,639,714			
(1) 医業収益	2,799,389			
(うち修正医業収益)	2,778,591			
入院収益	1,409,943			
外来収益	1,252,104			
診療収入計	2,662,047			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	137,342			
(うち他会計負担金)	20,798			
(2) 医業外収益	1,840,325			
(うち国・都道府県補助金)	1,369,040			
(うち他会計補助・負担金)	216,863			
(うち長期前受金戻入)	233,136			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	170			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,076,760			
2 経常費用	4,076,414			
(1) 医業費用	3,899,289			
職員給与費	2,313,651	82.6	59.4	63.7
材料費	564,174	20.2	26.1	21.0
(うち薬品費)	275,798	9.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	285,011	10.2	11.8	10.1
減価償却費	294,798	10.5	8.7	9.7
経費	706,901	25.3	22.1	28.9
(うち委託料)	326,628	11.7	11.7	13.6
研究研修費	5,782			
資産減耗費	13,983			
(2) 医業外費用	177,125			
(うち支払利息)	33,635	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	346			
損益	563,300			
純損益	563,124			
累積欠損金	700,097			
経常収支比率	113.8		103.3	101.8
医業収支比率	71.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	71.3		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	5.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	108.0		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,678,245
1 固定資産	3,216,348
(1) 有形固定資産	3,208,517
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	4,552
2 流動資産	2,461,897
(1) 現金及び預金	949,543
(2) 未収金及び未収収益	1,479,294
(3) 貸倒引当金()	5,636
(4) 貯蔵品	38,696
3 繰延資産	-
負債合計	3,327,740
1 固定負債	2,281,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,620,826
(2) その他の企業債	30,823
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	629,872
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	846,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,936
(2) その他の企業債	5,632
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	131,134
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	177,566
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	199,782
(1) 長期前受金	3,797,101
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,597,319
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,350,505
1 資本金	200,856
2 剰余金	2,149,649
(1) 資本金剰余金	2,849,746
(2) 利益剰余金	-700,097
負債・資本合計	5,678,245
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,661	237,661
資本勘定繰入	233,016	231,710
計	470,677	469,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 三重県	
市町村・組合名	亀山市				
病院名	市立医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,980 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	90	51.2	59.2	62.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	51.2	59.2	62.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.7	14.6

設立団体の状況	
人口(人)	49,835
決算規模(千円)	23,991,060
標準財政規模(千円)	13,268,996
財政力指数	0.84
経常収支比率(%)	85.2
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,782,643			
1 経常収益	1,782,643			
(1) 医業収益	1,317,297			
(うち修正医業収益)	1,225,997			
入院収益	658,025			
外来収益	469,222			
診療収入計	1,127,247			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	190,050			
(うち他会計負担金)	91,300			
(2) 医業外収益	465,346			
(うち国・都道府県補助金)	330,701			
(うち他会計補助・負担金)	122,466			
(うち長期前受金戻入)	4,262			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,641,857			
2 経常費用	1,639,883			
(1) 医業費用	1,566,817			
職員給与費	874,992	66.4	59.4	76.5
材料費	162,440	12.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	65,010	4.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,120	7.3	11.8	6.4
減価償却費	126,928	9.6	8.7	11.5
経費	394,755	30.0	22.1	32.6
(うち委託料)	249,699	19.0	11.7	14.8
研究研修費	1,317			
資産減耗費	6,385			
(2) 医業外費用	73,066			
(うち支払利息)	416	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,974			
損益	142,760			
純損益	140,786			
累積欠損金	1,143,097			
経常収支比率	108.7		103.3	101.5
医業収支比率	84.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	78.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	95.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,280,059
1 固定資産	2,223,922
(1) 有形固定資産	2,169,130
(2) 無形固定資産	940
(3) 投資その他の資産	53,852
2 流動資産	1,056,137
(1) 現金及び預金	622,287
(2) 未収金及び未収収益	429,303
(3) 貸倒引当金()	1,801
(4) 貯蔵品	6,348
3 繰延資産	-
負債合計	699,277
1 固定負債	355,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	336,659
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,742
(7) 一ス債務	97
2 流動負債	330,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,656
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,812
(6) リ一ス債務	1,166
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	175,553
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,639
(1) 長期前受金	33,413
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,774
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,580,782
1 資本金	3,706,101
2 剰余金	-1,125,319
(1) 資本剰余金	17,778
(2) 利益剰余金	-1,143,097
負債・資本合計	3,280,059
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,349	213,766
資本勘定繰入	17,723	17,723
計	249,072	231,489

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	86.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		志摩市			
病院名		国民健康保険 志摩市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,358 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	17	-	-	-
療養	60	85.6	95.7	97.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	66.7	74.6	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	46,057	
決算規模(千円)	27,690,584	
標準財政規模(千円)	15,955,927	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,319,525			
1 経常収益	1,315,072			
(1) 医業収益	925,172			
(うち修正医業収益)	886,576			
入院収益	547,158			
外来収益	316,880			
診療収入計	864,038			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	61,134			
(うち他会計負担金)	38,596			
(2) 医業外収益	389,900			
(うち国・都道府県補助金)	29,359			
(うち他会計補助・負担金)	270,993			
(うち長期前受金戻入)	79,563			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,453			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,326,025			
2 経常費用	1,321,463			
(1) 医業費用	1,262,343			
職員給与費	815,041	88.1	59.4	76.5
材料費	110,950	12.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	54,468	5.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,482	6.1	11.8	6.4
減価償却費	93,130	10.1	8.7	11.5
経費	240,785	26.0	22.1	32.6
(うち委託料)	154,256	16.7	11.7	14.8
研究研修費	2,203			
資産減耗費	234			
(2) 医業外費用	59,120			
(うち支払利息)	13,831	1.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	4,562			
損益	-6,391			
純損益	-6,500			
累積欠損金	684,411			
経常収支比率	99.5		103.3	101.5
医業収支比率	73.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	70.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	33.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	23.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,599,148
1 固定資産	1,365,679
(1) 有形固定資産	1,363,857
(2) 無形固定資産	1,822
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	233,469
(1) 現金及び預金	37,992
(2) 未収金及び未収収益	205,197
(3) 貸倒引当金()	13,165
(4) 貯蔵品	3,445
3 繰延資産	-
負債合計	1,692,554
1 固定負債	587,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	571,327
(2) その他の企業債	15,734
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	193,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,662
(2) その他の企業債	2,598
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,222
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,933
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	912,230
(1) 長期前受金	1,788,605
(2) 長期前受金収益化累計額()	876,375
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-93,406
1 資本金	350,796
2 剰余金	-444,202
(1) 資本金剰余金	240,209
(2) 利益剰余金	-684,411
負債・資本合計	1,599,148
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	93,406
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,576	309,589
資本勘定繰入	54,447	108,401
計	393,023	417,990

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	伊賀市				
病院名	伊賀市立上野総合市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,528 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	241	57.4	55.7	56.3
療養	40	79.2	90.2	89.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	60.5	60.6	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.1	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	88,766	
決算規模(千円)	45,445,713	
標準財政規模(千円)	27,608,387	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	66.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,172,229			
1 経常収益	5,089,525			
(1) 医業収益	4,292,363			
(うち修正医業収益)	4,079,561			
入院収益	2,878,239			
外来収益	965,292			
診療収入計	3,843,531			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	448,832			
(うち他会計負担金)	212,802			
(2) 医業外収益	797,162			
(うち国・都道府県補助金)	426,268			
(うち他会計補助・負担金)	192,168			
(うち長期前受金戻入)	126,609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82,704			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,838,191			
2 経常費用	4,835,530			
(1) 医業費用	4,577,076			
職員給与費	2,504,758	58.4	59.4	63.7
材料費	773,130	18.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	261,862	6.1	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	509,205	11.9	11.8	10.1
減価償却費	258,919	6.0	8.7	9.7
経費	1,029,155	24.0	22.1	28.9
(うち委託料)	487,692	11.4	11.7	13.6
研究研修費	5,166			
資産減耗費	5,948			
(2) 医業外費用	258,454			
(うち支払利息)	14,194	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,661			
損益	253,995			
純損益	334,038			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.3		103.3	101.8
医業収支比率	93.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	89.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	96.9		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,063,984
1 固定資産	2,578,952
(1) 有形固定資産	2,576,785
(2) 無形固定資産	1,656
(3) 投資その他の資産	511
2 流動資産	2,485,032
(1) 現金及び預金	1,532,699
(2) 未収金及び未収収益	947,928
(3) 貸倒引当金()	1,405
(4) 貯蔵品	5,810
3 繰延資産	-
負債合計	3,410,434
1 固定負債	2,314,688
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,240,005
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	425,000
(6) 引当金	649,683
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	878,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,754
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	177,197
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	327,848
(9) 前受金及び前受収益	1,000
3 繰延収益	216,947
(1) 長期前受金	4,102,643
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,885,696
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,653,550
1 資本金	168,333
2 剰余金	1,485,217
(1) 資本金剰余金	1,085,633
(2) 利益剰余金	399,584
負債・資本合計	5,063,984
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	404,970	404,970
資本勘定繰入	220,810	220,810
計	625,780	625,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	大台町		
病院名	報徳病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,668	
決算規模(千円)	8,180,510	
標準財政規模(千円)	4,986,072	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	7.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654			
1 経常収益	654			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	654			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	654			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	654			
2 経常費用	654			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	654			
(うち支払利息)	654	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403	654
資本勘定繰入	5,238	8,547
計	5,641	9,201

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		玉城町			
病院名		国保玉城病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,964 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	50	95.5	97.8	98.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	95.5	97.8	98.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	15,041	
決算規模(千円)	7,288,845	
標準財政規模(千円)	4,464,276	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	78.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	28.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	903,425			
1 経常収益	862,564			
(1) 医業収益	762,355			
(うち修正医業収益)	755,518			
入院収益	469,708			
外来収益	182,166			
診療収入計	651,874			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	110,481			
(うち他会計負担金)	6,837			
(2) 医業外収益	100,209			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	87,063			
(うち長期前受金戻入)	8,671			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,861			
(うち他会計繰入金)	8,000			
総費用	808,055			
2 経常費用	800,055			
(1) 医業費用	764,395			
職員給与費	436,201	57.2	59.4	76.5
材料費	70,851	9.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	22,240	2.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,527	4.8	11.8	6.4
減価償却費	39,824	5.2	8.7	11.5
経費	201,341	26.4	22.1	32.6
(うち委託料)	148,072	19.4	11.7	14.8
研究研修費	384			
資産減耗費	15,794			
(2) 医業外費用	35,660			
(うち支払利息)	8,576	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	8,000			
損益	62,509			
純損益	95,370			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.8		103.3	101.5
医業収支比率	99.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	98.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	11.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	96.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,636,407
1 固定資産	770,149
(1) 有形固定資産	759,398
(2) 無形固定資産	676
(3) 投資その他の資産	10,075
2 流動資産	853,365
(1) 現金及び預金	702,004
(2) 未収金及び未収収益	148,504
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,857
3 繰延資産	12,893
負債合計	767,003
1 固定負債	491,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	465,499
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,107
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	135,276
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,557
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,704
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	140,121
(1) 長期前受金	252,862
(2) 長期前受金収益化累計額()	112,741
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	869,404
1 資本金	15,863
2 剰余金	853,541
(1) 資本金剰余金	594,754
(2) 利益剰余金	258,787
負債・資本合計	1,636,407
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	87,063	101,900
資本勘定繰入	22,911	22,911
計	109,974	124,811

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	南伊勢町				
病院名	町立南伊勢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,375 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	77.2	82.1	77.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	77.2	82.1	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.6	24.0	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	10,989	
決算規模(千円)	10,426,746	
標準財政規模(千円)	6,159,197	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	48.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,201,246			
1 経常収益	1,105,890			
(1) 医業収益	845,000			
(うち修正医業収益)	775,000			
入院収益	349,199			
外来収益	355,422			
診療収入計	704,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	140,379			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	260,890			
(うち国・都道府県補助金)	52,506			
(うち他会計補助・負担金)	174,811			
(うち長期前受金戻入)	2,040			
(うち資本費繰入収益)	30,399			
(3) 特別利益	95,356			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,218,964			
2 経常費用	1,063,624			
(1) 医業費用	1,042,228			
職員給与費	601,491	71.2	59.4	76.5
材料費	78,130	9.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	53,258	6.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,872	2.9	11.8	6.4
減価償却費	112,400	13.3	8.7	11.5
経費	249,639	29.5	22.1	32.6
(うち委託料)	123,169	14.6	11.7	14.8
研究研修費	568			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,396			
(うち支払利息)	4,560	0.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	155,340			
経常損益	42,266			
純損益	-17,718			
累積欠損金	217,768			
経常収支比率	104.0		103.3	101.5
医業収支比率	81.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	81.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,394,629
1 固定資産	2,015,963
(1) 有形固定資産	2,015,963
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	378,666
(1) 現金及び預金	208,040
(2) 未収金及び未収収益	166,057
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,569
3 繰延資産	-
負債合計	2,547,928
1 固定負債	2,263,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,263,583
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	184,601
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,480
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,832
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	80,822
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,744
(1) 長期前受金	127,418
(2) 長期前受金収益化累計額()	27,674
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-153,299
1 資本金	9,110
2 剰余金	-162,409
(1) 資本剰余金	55,359
(2) 利益剰余金	-217,768
負債・資本合計	2,394,629
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	153,299
資本不足額(繰延収益控除後)()	53,555
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	314,849	244,811
資本勘定繰入	30,399	30,399
計	345,248	275,210

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	紀南病院組合		
病院名	紀南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	22,675 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	200	57.4	58.0	58.0
療養	40	66.8	69.7	70.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	21.4	19.6	11.8
計	244	58.4	59.3	59.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	12.1	12.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,527,329			
1 経常収益	5,527,329			
(1) 医業収益	3,381,624			
(うち修正医業収益)	3,287,213			
入院収益	2,200,745			
外来収益	992,452			
診療収入計	3,193,197			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	188,427			
(うち他会計負担金)	94,411			
(2) 医業外収益	2,145,705			
(うち国・都道府県補助金)	1,150,849			
(うち他会計補助・負担金)	127,898			
(うち長期前受金戻入)	196,938			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,917,144			
2 経常費用	4,917,144			
(1) 医業費用	4,169,748			
職員給与費	2,389,430	70.7	59.4	63.7
材料費	651,367	19.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	282,781	8.4	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	356,626	10.5	11.8	10.1
減価償却費	325,465	9.6	8.7	9.7
経費	789,071	23.3	22.1	28.9
(うち委託料)	327,456	9.7	11.7	13.6
研究研修費	8,776			
資産減耗費	5,639			
(2) 医業外費用	747,396			
(うち支払利息)	29,024	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	610,185			
純損益	610,185			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.4		103.3	101.8
医業収支比率	81.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	78.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	4.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	107.9		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,339,144
1 固定資産	5,885,760
(1) 有形固定資産	5,644,395
(2) 無形固定資産	1,811
(3) 投資その他の資産	239,554
2 流動資産	3,453,384
(1) 現金及び預金	2,051,708
(2) 未収金及び未収収益	1,404,693
(3) 貸倒引当金()	8,915
(4) 貯蔵品	5,898
3 繰延資産	-
負債合計	5,501,786
1 固定負債	2,928,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,874,546
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	4,277
2 流動負債	917,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	385,278
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	165,200
(6) リース債務	1,901
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	347,241
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,655,718
(1) 長期前受金	5,392,985
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,737,267
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,837,358
1 資本金	906,776
2 剰余金	2,930,582
(1) 資本剰余金	141,486
(2) 利益剰余金	2,789,096
負債・資本合計	9,339,144
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	368,874	222,309
資本勘定繰入	190,974	180,298
計	559,848	402,607

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。